

(表紙より)ための必要な知識や生活の知恵なども施され、教育方法は人間の成長段階に相応した養育を肝腎とする明確な教育哲学の基に展開されていました。

現在、文科省を中心に教育改革が進められていますが、寺子屋教育に学ぶものは極めて多く、日本が誇るこの寺小屋の教育

哲学を今一度振り返ってみる必要があると思っています。またロータリーでは青少年奉仕において青少年の健全育成に力を入れております。今ここで、教育の基本をはっきり見定め、子どもたちが成長してゆく姿を一ロータリアンとして見守ってゆく必要があると思っています。



基本的教育と識字率向上月間に寄せて

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 天野 肇

9月は、「基本的教育と識字率向上」月間です。従来は、3月が「識字率向上」月間でした。変更された理由は、ロータリー財団の6つの重点分野が、2015-16年度より全て月間行事に割り振られたためです。

基本的教育と識字率向上は、コインの裏表の関係で基本的教育が行き届けば、当然識字率も向上します。日本流に言えば、「読み・書き・算盤」の世界です。換言すれば、機能的識字率です。江戸時代、寺子屋が発達した我が国では明治初期の識字率は50%強と言われ、欧米の研究者が驚く水準でした。明治政府は、西欧列強に追いつくための富国強兵スローガンの下、徴兵制度を導入しましたが、強兵の原点は兵一人一人の機能的識字能力が高いことにあるため、当時の文部省が全国津々浦々に尋常小学校を配置する施策と相まって、我が国の基本的教育度と識字率は1910年代にはほぼ100%に近い数字となりました。一説に明治政府は、当初国家予算の40%を基本的教育に投じたと言われております。識字率向上には、国家の政治的安定、為政者の努力、国の経済力の向上(貧困撲滅)が欠かせません。

翻って世界へ目を転じると、識字率を考える上で欠かすことが出来ないファクターが貧困です。先日世界銀行が「貧困は着実に減少している。1990年世界の貧困率は、36%であったが、2010年18%まで改善された。(貧困ライン層とは、一日1.25ドル以下で生活する人々を指す)1990年に18億人いた貧困層が2010年12億人まで減少した。貧困ライン層をゼロ%に近づけることは夢ではなくなった」と発表致しました。一方で世界の識字率は、2011年の調査では、7億7,600

万人の人々が読み書きが出来ない、そしてその3分の2は女性です。統計数字が、貧困が解決されることが識字率向上に繋がることを示しております。地域的な差はありますが、アフリカと東南アジアの諸国に非識字者が多い現状です。非識字者の比率が高い地域や国は、政治的に安定を欠き、国自体の教育予算が少なく、従って初等教育費が無償ではなく個人の負担となる一方で、家計を助けるために幼少期から働かざるを得ないため必然的に学校へ行かれないという負のスパイラル現象が顕在します。中近東におけるイスラム国の拡大は、負のスパイラルを助長する以外何物でもありません。国際ロータリーがロータリー財団の6つの重点分野の一つとして取り上げているのは当然と言えば当然と思います。各クラブが、この分野でロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を活用して活動プログラムを組むことが奨励されております。地区内のクラブの中には東南アジアの国を対象にして、小学校を支援したり、教材を寄付したり、有意義で効果のある活動をされております。引き続きご尽力をお願い致します。

最後に私見ですが、近い将来パソコンがスマホに替わるであろうと予見される程ITの発達が急激な世界で、脱貧困、基本的教育の在り方、機能的且つ有機的な識字率向上の実態に大きな変化が現れるのではと愚考しております。文字を書き、読むと言う旧来の識字率向上に加え、ITリテラシーを身に付け、使いこなすことが要求される時代が目の前に来ております。基本的教育充実、識字率向上運動も時代の変化への対応が迫られております。



国際ロータリー第2710地区 RLI 第7期を終えて

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区研修リーダー・RLI地区代表委員 前田 茂

これまで、ロータリー年度を超えて開催されてきましたRLIでありました。

今回より、当該ガバナー年度内にパート1～3まで、及び卒業プログラムを終えるように設定されました。実際には

そのパートの始まる前にタスクフォース会議が開催されますので、開催関係者の方々は、準備実施に係る中で大変な時間と労力をいただいているわけであります。

このことは、ロータリー精神からみれば“one profit most serves best”と、理解すべしと思う所であります。

さて、今回 RI 第2710地区 RLI第7期が2015年6月14日(日)のパート3及び卒業プログラムを以て終了となりました。関係者の皆様にはご協力とご理解、そして受講者のためにいろいろと研究して臨んでいただきました事に厚く感謝を申し上げます。

また、受講者の皆様には意見を述べていただくということで、自クラブの現状や分析、ロータリーの理解のために準備をされたことと思います。このことが少しでもロータリー意識のボトムアップに繋がったのでは、と感じております。パート1～3まで3回にわたってスパイラル階段を上っていただいたこととなります。

パート1はロータリアンとして一人一人が学ぶべきテーマとなっています。パート2は私達の所属するロータリークラブがより効果的なクラブに成長するためのテーマとな



第1回諮問委員会の報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 兼広 三朗

本年度第1回諮問委員会が7月12日(日)ホテルグランヴィア広島で開催されました。

最初に金子克也直前ガバナーより以下の報告がありました。

1. 会員の動向について
 - 2015年5月末現在、期首より91名増
 - 2015年5月末現在の当地区の平均出席率は90、81%
2. ロータリー財団について
 - (ロータリー財団寄付状況合計581,566.73ドル)
 - 地区別寄付報告 ○クラブ別寄付報告
 - ポリオ寄付報告
 - グローバル補助金 地区グローバル補助金履歴
 - 2014-15年度 DDF配分
3. 米山記念奨学会について
 - 当地区今期合計額は44,636,158円で地区順位は17位
4. 各種表彰について
5. インターアクトについて
 - 1クラブ解散 1クラブ結成
6. ネパール地震 義捐金について
 - 地区内68クラブからの総額3,140,457円の義捐金を6月3日米山記念奨学会に送金。その後ロータリー米山記念奨学会よりネパール米山学友会に送金され、復興支援活

り、パート3は「私のロータリーの旅」とタイトルが付いていて、パート1・パート2の学びを基に幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ「旅」となっています。そしてゴールは私達のそれぞれがロータリアンとしての成長とローター観の確立を目指しているわけであります。

このRLIのカリキュラムは3つの大きな柱があります。1. リーダーシップ 2. 奉仕 3. 会員増強であります。

会員増強は、会員自身やクラブの組織が成長、強化していくための「会員組織」を意図して会員基盤の充実を目指しています。セミナー参加者が3つの柱のラセン階段を一步一步踏みしめながら登っていただければ幸いに思うところでもあります。

これらのカリキュラムは、潜在的なリーダーのためのリーダーシップ開発プログラムであり、多地区の「草の根連合組織」であります。そして、このカリキュラムは絶えず改定され、年々グレードアップされ、3年に1回大きな改定があります。こうした機会を有効に活用し、素晴らしい皆様の未来を構築されることを心よりお祈りいたします。

- 動の資金となる予定。
- 7. 決算見込み概要
- 8. RI第106回年次大会(ブラジル サンパウロ)について
- 12RCより会員12名、家族8名が参加
- 9. 東日本大震災復興支援について
- 10. 広島豪雨災害支援についての報告がなされた。

続いて東ガバナーより2015-16年度地区運営についての説明があり、地区目標及び地区主要行事、公式訪問予定、地区指導者育成セミナー[8月23日(日)ホテルグランヴィア広島]、地区大会[10月24日(土)、25日(日)26日(月)、宇部]、RYLA[11月14日(土)、15日(日)萩]の報告がされた。引き続き地区内情報について[IA、RA、青少年交換学生、RCC、プロバス、米山記念奨学生(新規16名、継続5名)]、2015-16年度地区補助金申請(20クラブ決定)、グローバル補助金状況報告、危機管理委員会(2015-16年度委員)の説明が行なわれた。そこで前田戦略計画委員会委員長を指名され、前田委員長より本日行なわれた戦略委員会の報告がなされた。

次に田原ガバナーエレクトより、2016-17年度地区担当者名簿(案)、2016-17年度地区主要日程(案)について報告が行なわれた。

ガバナー補佐就任のご挨拶



グループ1 ガバナー補佐

下関東RC 水野 直房

去る6月28日、所属する下関東ロータリークラブ50周年記念式典に際し、例会28年皆出席の表彰状をいただきました。

チャーターメンバーであり、第6代会長をおつとめした父の後を継ぎ、入会以来多くの先輩から時に厳しく、また優しく御指導を賜って紳士道を学び続け、まっしぐらに走り続け



グループ2 ガバナー補佐

宇部東RC 翁林 武雄

本年度グループ2のガバナー補佐をお引き受けすることになりました、宇部東ロータリークラブの翁林武雄です。

東ガバナー年度を目前にして、この5月6月にグループ2の7RCをビジターとして訪問し、ガバナーとのパイプ役としてスタートしております。補佐としての大役を務めるには経験不足の私にとって少し荷が重く感じているところです。7RC各クラブに於いては退会防止及び会員増強に奮闘されていることもよくわかり、皆さんが自発的に努力をし、目標達成に前進する姿を見て、温かく見守り私なりの協力をし、ガ



グループ3 ガバナー補佐

山口県央RC 藤田 育夫

昨年12月に開催されましたRLIのDL研修から、ガバナー補佐としての研修が始まりました。その日から、若輩者の私に本当にガバナー補佐が務まるのか、不安の日々を過ごしております。

東ガバナーの今年度のテーマは「ロータリーの基本に戻ろう」です。これに沿ってロータリーの基本精神なるものを、私なりに勉強して参りました。奉仕の精神とは如何なるものか、親睦の重要性は何処にあるのか等、設立当初に遡り考



グループ4 ガバナー補佐

徳山東RC 神田 忠二郎

本年度グループ4のガバナー補佐を務めます徳山東ロータリークラブの神田忠二郎です。前年度より、ガバナー補佐会議、RLIディスカッション・リーダー研修に引き続き3回に亘るRLI分科会のディスカッション・リーダーの役割、会長エレクト&地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会等と長い助走期間を経てガバ

てフト気がつきますと80歳を迎えておりました。

本務を長男に托し、これからのんびりとばかりホッと一安心しておりますところへ、何と「ガバナー補佐をつとめよ」との御下命である。いや驚きましたネ。何とか拝辞出来ないものかとあれこれ思案いたしました。包囲網の厳しさに断念、謹んで拜命いたしました次第。幸い補佐幹事に何と会長エレクトの活田敏三会員を付けて下さって勇気百倍。彼の若さと勇気と英知と行動力に、私はすっかり安心し、頼りきってのスタートです。向う一年間何卒よろしく願い申し上げます。

バナーの一層効果的な行動を支援して行こうと思いました。

ガバナー業務を支援する為には、充分な情報収集とより適切な伝達が肝要だと思われました。

RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

東ガバナー信条

ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう。微力ではありますが、責任を果たせるよう努力させて頂く所存です。

また新年度より早々に補佐訪問してガバナー公式訪問、地区大会等多くの任務があります。

IMについては来年3月12日(土)に宇部72アジススパホテルにて予定しております。グループ2各クラブの会員の皆様のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

察する事が大切であると感じました。

例えば職業奉仕、この言葉の元となるVocational Serviceを直訳～天職を通して相手の立場に立ち、お役に立てる事をする～とすれば良く分かりました。自分が今働いている環境に感謝し、関係している皆様が幸せになれる様、鋭意努力する事を継続する、これが私の中のI serveの解釈となっております。

理解が進む程、ロータリアンである事に大きな重圧を感じるのですが、同時に実践し続ける事で矜持を持てるのではないかと感じております。

この一年、ガバナー補佐として恥じぬ様、一生懸命努めて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ナー補佐の年度となりました。早速各クラブを訪問しておりますが、長かった助走期間の割には思うに任せず、浅学非才とはこのことかと妙に納得しております。

ガバナー補佐の役割はガバナーとクラブの連絡調整役です。グループ4の5クラブは何れも個性あるクラブであり、役に立つ仕事が出来るか不安はありますが、ガバナーの方針をクラブに伝え、クラブの皆さんの意見をガバナーに報告するという役割を果たして参りたいと思います。Enjoy Rotaryの精神で頑張りますので1年間宜しくお願い申し上げます。



グループ5ガバナー補佐

岩国中央RC 西本 守利

本年度国際ロータリー 2710地区グループ5ガバナー補佐を仰せつかりました岩国中央ロータリークラブの西本守利でございます。ロータリー会員歴は28年と年数だけは長いのですが基より浅学非才のためガバナー補佐としてのお役目をどの様に果たして行けば良いのか暗中模索の日々が続いております。

私の比較的最長いロータリー歴の中で皆様に語れる事は余りありませんが唯一誇りに思っている事は私が会長を仰せ



グループ6 ガバナー補佐

広島北RC 小川 嘉彦

本年度グループ6のガバナー補佐を仰せつかりました、広島北ロータリークラブの小川嘉彦でございます。

昨年9月27日にホテルグランヴィア広島で開催された、第1回ガバナー補佐会議からの会議や研修セミナー、RLIでのディスカッションリーダーを務める等、少しずつガバナー補佐の職務について学ぶにつけ、大変な役目で私などに務まるの



グループ7 ガバナー補佐

広島西RC 中村 哲朗

グループ7を担当させて頂きます広島西RCの中村哲朗です。ロータリーに関してもっと勉強しておけば良かったと思っておりますが、東ガバナー年度のロータリー活動が充実した1年になりますよう微力ながら努力・行動をして行きたいと考えております。皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて2016年2月28日(日)グループ6、7の合同インターシティミーティングを広島西RCの主管で開催いたします。今



グループ8 ガバナー補佐

東広島21RC 土肥 慎二郎

本年度第8グループのガバナー補佐をさせて頂きたくております東広島21RCの土肥慎二郎です。

新年度が始まり、すでに幾つかのクラブを訪問させていただきましたが、どのクラブも温かく迎えて下さりありがとうございます。

ガバナー補佐になることが決まってからは多くの方と出会いました。

つかった2007-2008年度に会長方針の事業として「環境問題に取り組もう」を掲げ、その一環として社会奉仕活動を通じて環境問題を取り上げ、錦川流域の自然環境を守るために流域の山林に植林活動を行い、その活動が認められ当時の金子ガバナーから2710地区での意義ある業績賞を戴いた事だと思ひます。少し自慢話になりましたが、再来年は当クラブからガバナーを輩出致しますので皆様に大変お世話になると思ひます。

今年一年グループ5ガバナー補佐として頑張つて参りますので皆様のご指導ご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

か不安なまま7月に入り、ガバナー訪問準備クラブ協議会や例会訪問等で毎日が学びながらのスタートとなりました。

東良輝ガバナーの信条は「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」であり、「会員基盤の充実」等7つの地区重点項目を掲げられています。ガバナー補佐として地区と各クラブの皆様とのパイプ役となりますように、微力ではございますが1年間がんばつてまいります。皆様には、ロータリーの友情と寛容の心で、ご指導ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

年は被爆70年の節目に当たりますので「広島ロータリアンが発信する奉仕を通じて平和を」というテーマを掲げ、基調講演Part 1は、2012年-13年度国際ロータリー会長をされた田中作次様をお願いし、基調講演Part 2は、広島市長 松井一實様をお願いしております。田中元RI会長は、2013年5月に「ロータリー世界平和フォーラム」を広島で開催されておられます。(広島他ベルリン、ホノルルの3都市で開催)

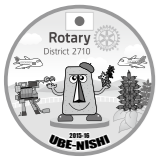
基調講演の後、田中元RI会長と広島市内のRCに在籍される会員によるパネルディスカッションを行う計画です。グループ6、7に所属される950名の会員の皆様、是非ともIMに出席して頂きますようお願い申し上げます。

ガバナー、地区役員・事務所のみなさん、RLIに参加された多くの方々、そして第8グループの会員の皆様と充実した話ができましたことをうれしく思ひます。

今年度の東ガバナーは地区運営基本方針を「ロータリーの基本に戻ろう」とされました。これから1年間、ロータリアンの皆様との素晴らしい出会いの中で、改めて「ロータリーの基本」というものを考えてみたいと思っております。

いろいろと至らない点もあるかと思ひますが、暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、私を後ろから支えていただいている東広島21RCのみなさまに感謝いたします。



グループ9 ガバナー補佐 竹原RC 市川 重雄

31年前友人に誘われるままロータリークラブの事を何も知らずに入会させて頂き、地域の名士の顔触れに身が細る思いをしたものです。入会し、諸先輩方の行動・話・意見等見聞きして私なりのロータリー感を持ち、いろんな立場でロータリーを楽しんできましたが、昨年5月2015-16年度G9のガバナー補佐を仰せつかり、弱輩の自分にこんな大役が出来るのか不安と責任との葛藤の毎日でした。しかし9月に第1回ガバナー補佐会議に参

加し決心し、自分の力で出来る事を一生懸命頑張っていこうと決意し又補佐幹事に直前会長に受けて頂き、力を得て6月(2015年)にG9各クラブに挨拶回りで訪問させて頂きました。さすがはロータリークラブ、弱輩の私を力付けて貰える歓迎を受け感謝致し気持ち良く6月を終えました。

7月から本格的任務に入りますがG9クラブの会員の皆様の友情と寛容の精神で見守って頂きながら任務を遂行して参りたいと思います。又関係各位のご指導ご鞭撻頂く中で私自身のロータリーを勉強し、今後のロータリー活動に生かして行ければ幸せと考えております。この1年元気で任務を果たす決意です。宜しくお願い致します。



グループ10 ガバナー補佐 福山RC 晝田 眞三

ロータリーと言うところは苦勞すればするだけ好きになるという不思議な一面があります。クラブ幹事をやったときもクラブ会長をやったときも多くの会員諸兄から好意に満ちた支援をいただき、やって良かったという実感を味わったものです。ガバナー補佐についても既にRLIディスカッション・リーダーを終えました。これは自らの不勉強を自覚するところから始まり、本番では冷や汗物、目の前の仕事はやるしかない訳ですから、参

加者にとっては迷惑だったものと思いますが終わってみれば貴重な体験と勉強をさせていただいたものと思っています。そして各種研修・会議にも参加しました。それぞれが米国的なシステム化した教育プログラムであり、それらを体験したことは甚だ興味深いものです。

7月のスタート時点で既に半分終わったような気になっていますが、本番はこれから、一人でも多くの成熟したロータリアンと腹を割った話ができれば人間的成長の糧になるものと信じて、そのお役目を果たせるよう地味ながら務めさせていただきます。



グループ11 ガバナー補佐 福山赤坂RC 徳永 雅俊

本年度、グループ11のガバナー補佐に就任致しました、福山赤坂ロータリークラブの徳永雅俊と申します。

国際ロータリーK.R.ラビンドラン会長のあいさつ中に、“私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか”という感銘を受けた言葉があります。

私も、この限られた1年の中で何が出来るのか問われても、

明確に答えられない自分が有りますが、ただ一つ言えるのであれば、それは本年度の会長・幹事の方々に、東ガバナー年度に会長・幹事をやって良かったと言って頂ける様全力でサポートしてまいりたいと思っております。

そしてまた、東ガバナーの地区重点項目である①全員基盤の充実②充実した奉仕プロジェクト③公共イメージと認知度の向上④財団への支援と奉仕プロジェクトへの積極的な参加⑤米山奨学会事業の理解、ならびに支援⑥地区とクラブ、クラブ間の円滑な情報伝達(コミュニケーション)⑦リーダーの育成の7項目をご理解、また実施頂ける様、11グループの皆さんにご協力頂きながら頑張りたいと思っておりますので1年間宜しくお願い致します。



グループ12 ガバナー補佐 三次中央RC 沖 東洋治

本年度グループ12のガバナー補佐に就任いたしました三次中央ロータリークラブの沖 東洋治と申します。

グループ12は、三次、東城、吉舎、庄原そして三次中央の広島県北の5クラブの構成となっております。

私は、三次中央ロータリークラブ創立から前年度25周年

に至るまで一貫して「ロータリーを楽しく」をモットーとしてまいりました。

東ガバナーの信条を軸に、私なりにメッセージの役割を遂行する所存でございます。

とはいえ私自身、大変微力でございますので、グループ12会員諸兄の多大なるご協力と、ご指導をお願いし、この一年間皆様と共に新たな学びの年にさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度 74RCの会員増減・出席率

2015年7月度

Table with 11 columns: グループ, クラブ名, 例会数, 出席率(%), 会員数, 年度初(7/1), 当月, 内女性, 本年度, 入会者, 退会者, 増減. Includes data for groups 1, 2, 3, 4, 5.

Table with 11 columns: グループ, クラブ名, 例会数, 出席率(%), 会員数, 年度初(7/1), 当月, 内女性, 本年度, 入会者, 退会者, 増減. Includes data for groups 7, 8, 9, 10, 11, 12 and regional totals.

